

### そんけい すべき ムスリム の みなさま！

さきほど ろうどく した アーヤ の なか で、 いとたかき アッラー (スブハーナ ワ タアーラー) は、 つぎ の ように つげて おられ ます。「ぜんじ を もって くる もの には、 それ とおなじ ような もの が 10 ばいに される。 あくじ を もって くる もの は、 それ と おなじ ような もの で むくいられる だけ。 かれら が、 ふせい に あつかわれる こと は ない。」

1

また、 アッラー の しと (かれ の うえ に しゆくふく と へいあん あれ) は、 ハディース の なか で つぎ の ように かたって います。「びとく とは しんせつ な きごころ の こと である。 あく とは、 あなた の こころ に くいこんで いて、 けつして たにん には みられたく ない と おもって いる もの の こと である」。<sup>2</sup>

### しんあい なる しんこうしや の みなさま！

この よ の せい とは、 ぜん を なす たび の ような もの です。 わたしたち の もつとも ジゅうよう な ぎむ とは、 しんこう し、 ぜんこう を なし、 ちじょう に ぜん を ひろめる こと です。 わたしたち の もつとも きほんてき な ぎむ とは、 わるい こと、 ふてきせつ な こと、 ゆうがい な おこない を さけ、 ふせぐ こと です。 アッラー、 しんばん の ひ、 てんしたち、 けいてん、 よげんしゃたち を しんじる こと は ぜんこう に あたります。 それ は ジぶん の もてる もの の なか から、 しんせき、 おや を うしなった こどもたち、 まずしい ひとびと、 たびびと の ため に じぜん を する こと を いみ します。 れいはい を し、 きしや (ザカート) を はらい、 やくそく を まもる こと であり、 まずしい とき、 びょうき の とき、 こんなん の ときには たすけあい、 とめる とき、 すこやか な とき は アッラー (スブハーナ ワ タアーラー) に かんしや する こと を いみ します。

3

ぜんこう を なす には、 せいじつ な しもべ である こと、 れいぎ たらしい こども である こと、 じひぶかい りょうしん である こと、 せいじつ な はいぐうしや である こと が もとめ られます。 それ は しんせき や りんじん と、 よろこび や かなしみ を わかちあう こと を いみ します。 ぜんこう とは、 よくあつ された こじに、 おいた りょうしん に、 めうえ の ひとびと にて を さしのべる こと です。

### しんあい なる しんこうしや の みなさま！

この こと を ふまえて、 いま から でも わたしたち の せい に いみ を もたせ ましよう。 ぜんこう に よって ひとびと の こころ を かちとり、 ドゥアー を し もらえる ように なりましよう。 ひつよう として いる ひと に、 おもいやり の て を さしのべ ましよう。 こどくな ひと の こころ に、 おもいやり の こころ を とどけ ましよう。 つかれて いる ひと は いないか めくばり を し、 こころ が はれる ように して あげ ましよう。 あく は ふへいふまん を いう ことに よって では なく、 たちむかい、 ぜん を ひろめる こと に よって ふせげる のだ と いう こと を わすれ ない ように しましよう。 ぜん とは くちさき の こと でも、 よんだり かいたり すること でも なく、 こうどう そのもの なのです。

<sup>1</sup> An'am, 6/160.

<sup>2</sup> Muslim, Birr, 15.

<sup>3</sup> Baqarah, 2/177.